●広報

おぐに

2021
3
No.797

これ買ったよー

かもしかクラブでは、町内の各保育園・子ども園で、毎月１回交通安全教室を開催しています。２月19日、おぐに保育園では、１年間のまとめとして、信号の渡り方を学んだあと、お買物ごっこを行いました。子どもたちは、紙でできたお菓子やおもちゃの中から、いっぱい悩んで選んだ品物を、笑顔いっぱいで見せてくれました。

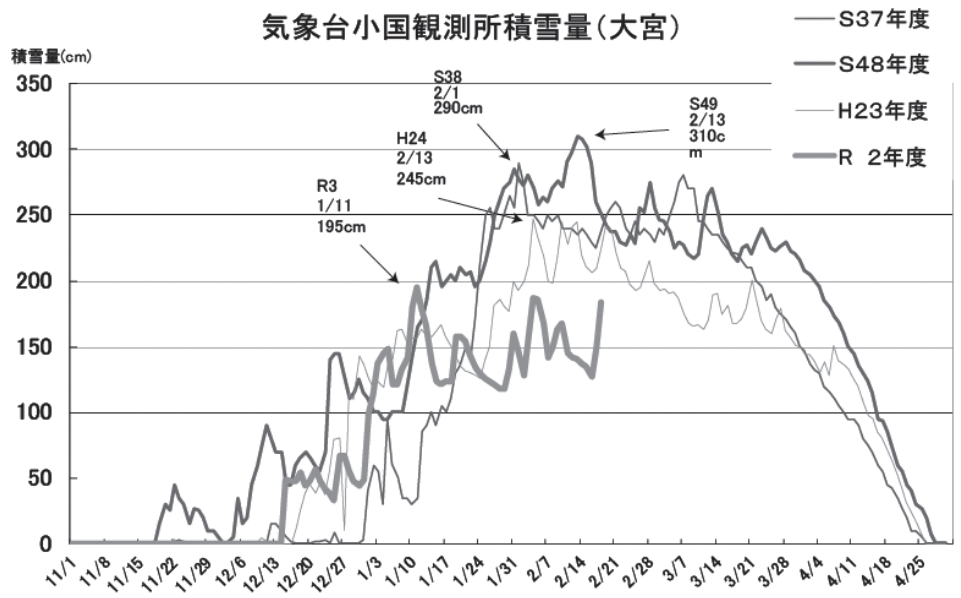
豪雪 ～支え合い 春を待つ～

「もうそろそろ降るのも終わりじゃないかなぁ」
２月に入り、春の気配を感じる日が続いたことで、町内で挨拶代わりに交わされるこの言葉を何度聞いたでしょうか。そんな中、２月17日から18日にかけての降雪により19日に大宮で188㎝、小玉川では360㎝の積雪を観測しました。まだまだ気が抜けない日々が続いています。
今月は、豪雪と闘う町の除雪対策や町内の共助の事例をご紹介します。

豪雪への対応

山形県内で、12月中旬から断続的に降雪が続いたことにより、県では1月1日に『山形県豪雪対策本部』を立ち上げました。その後も県内全域において降雪の勢いが弱まることもなく、屋根からの転落等による人的被害が175件報告され、そのうち13人が死亡する事態となっています。（2月12日現在・山形県発表資料）町内では、死亡事故は確認されていませんが、5件の人的被害が報告されています。

町の気象状況に目を向けると、中心部にある気象台小国観測所（大宮）のデータでは、年明けの1月3日の積雪量が昭和37年度の豪雪（38豪雪）を始めとした、これまでの豪雪と呼ばれる年の積雪量を上回ったことが確認されました。（左図）さらに、7日から強い冬型の気圧配置による大雪が見込まれたことから、4日に『小国町豪雪対策本部（本部長：小国町長）』を設置し、雪害事故防止のための安全パトロールなど、町民生活の安全確保に努めることにしました。その後も、断続的に降雪が続いたことから、対策本部において情報の収集に努め、除排雪作業に係る経費を増額したほか、高齢者等の暮らし応援事業を拡充するなどの対策を講じてきました。



38豪雪・48豪雪・H23（近年で最も降雪の多い年）・今年度（２/18まで）を比較したもの

旭町で行われた除雪協力会による集中除排雪

町の除雪状況

町内の道路には、国道・県道・町道があり、管理者が異なっています。そのため、国、県、町とが情報を共有し、効果的、効率的な除排雪体制を構築しています。

町道の除排雪については、町直営で中心市街地を行い、その他の地域を11工区に区分して、業者に委託しており、15cm以上の降雪量がある場合、または予想される場合に、道路除雪を行います。特にバス通行路線を午前6時まで、幹線町道・通勤、通学路線については午前7時までに作業を終えるよう努めています。今年度の町道の除排雪業務に係る予算は、当初1億4260万円を確保していましたが、豪雪による稼働日数の増加に伴い、1月7日に5千万円を専決処分により、さらに1月19日及び2月19日の臨時議会に、合わせて1億1千万円の経費を追加する補正予算を措置し、除排雪体制を確保しています。

除雪協力会とは

38豪雪当時、町外への唯一の交通手段であった国鉄米坂線が、雪のため10日間にわたり運休し、小国町は「陸の孤島」となりました。米坂線を開通するため、鉄道除雪に多くの町民が協力したことを契機に、昭和39年に町中心部に「除雪協力会」が誕生しました。町中心部では、除雪を町が行い、排雪のダンプ業者の経費を除雪協力会が負担して役割を分担しています。また、地域の近隣単位で行う、屋根の地区一斉雪下ろしなどにも協力し、個人では高額となっていた経費を団体として調整し、それをまとめることで、排雪経費を大幅に削減することができています。

除雪ボランティア

「ウチでもちゃんと除雪してますよー!!」

「除雪作業したことあるの?」という質問に明るく答えてくださったのは、小国高校2年の齋藤愛花（あいか）さんです。町社会福祉協議会と町教育振興課が1人暮らしの高齢者世帯などの除雪を行うために募集したボランティアの参加者の1人です。2月4日の除雪作業には、小国高校生5人と小国高校職員、地域おこし協力隊に同協議会、同課職員を加えた12人が集まりました。齋藤さんは、「雪で困っている人の手伝いが少しでもしたい」と話し、元気に除雪する姿を見せてくれました。

除雪作業を依頼したかたは、「一人暮らしで、屋根から落ちてたまる雪を片づけることが、とてもできませんでした。本当に助かりました。」と話されました。

同協議会では、地域における公益事業の一環として、この他、2度の除雪ボランティアで、計7世帯に除雪支援を行いました。

◀屋根に続いた雪を取り除きました

踏切で立ち往生した乗用車を救出

まだ年始休暇の最中の1月3日の朝方、大字町原地内の踏切内で、町内在住のかたが運転する乗用車が雪にはまり動けなくなりました。発見した渡部広美さん（町原）は、夫の淳さん、義父の健一さんに助けを求めました。その後、除雪作業中だった大和建設運輸㈱の除雪車を呼び止め、乗用車の前の雪を取り除き、渡部さん親子が車を押して線路から脱出させました。

1月25日、小国警察署において、救助を行ったかたがたへ感謝状が贈られました。

感謝状贈呈式でのコメント

◇渡部健一さん

「普段なら米坂線の車両が通る時間帯だったので、踏切事故があってはいけないと思い、必死に救助しました。除雪車の大和建設運輸㈱のかたが非常に協力的で町民のつな

高齢者等暮らし応援事業

町では、自力で除雪作業ができない65歳以上の高齢者世帯等を対象とし、屋根の雪下ろしや住宅周辺の除雪の支援をする「高齢者暮らし応援事業」を平成15年度から展開しています。この事業は、民生委員のかたがたが、対象となる高齢者世帯を訪問し、支援の必要性を認めたかたで、町民税の非課税等の要件を満たした場合に除雪を行う生活援助員を派遣します。

生活援助員を担っているのは、小国町シルバー人材センターの会員のかたがたです。

▲小国町シルバー人材センター事務局長　上村 敏弘さん

同センターの上村事務局長に話を伺いました。「年明け、急激に増えた依頼の日程調整が難しく、多くのお宅に大変お待たせをしました。

現在、正会員135人、賛助会員（冬期間のみ従事）333人で業務にあたっていますが、それでも町中心部は、人員が足りていません。雪質や集中的な積雪のため、例年より倍近くの作業時間を要する住宅が多いためです。また、会員の高齢化が課題となっており、今後も会員の確保や作業の安全管理を徹底していき、地域を見守りながら、冬の安心づくりに取り組んでいきたいと思います。」

町では、今年の豪雪に対応するため、3万6千円としていた1世帯あたりの利用上限額を7万2千円に拡充しています。これにより、利用している168世帯のうち95世帯に引き続き利用していただくことができました。

小国町が一丸となり

今冬は道路除雪を行う作業員にも、大変な負担が強いられています。それでも、降雪があれば、毎日夜明けには除雪作業を開始し、通学や出勤時の安全・安心な移動ができるようにしています。「小国町の道路はきれいだ」と言われるのも、作業員の努力の結果です。

町にとって、雪との闘いは永遠の課題です。「38豪雪」を教訓とした町ぐるみの除雪体制。そこから始まった除雪協力会や除雪ボランティアの活動。今年度もこれまで培ってきた小国町一丸で助け合う姿により、厳しい闘いを乗り越えようとしています。

春が訪れ、雪解けが町にめぐみをもたらしてくれるまで、あともう少しです。

町は、今後も安心安全な町民生活の確保に努めてまいります。

がりを感じました。これからも地域で助け合えるつながりを大切にしたいです。」

◇大和建設運輸㈱

野澤克之さん、安部源一さん

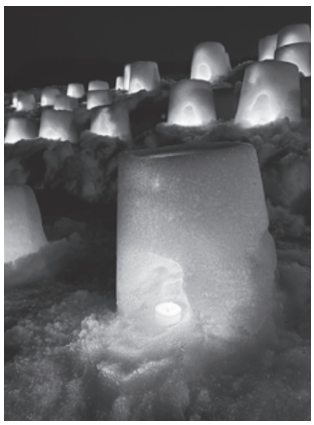
「除雪業務中でしたが、このままでは大惨事になるため、助けなければと思いました。会社に連絡すると、すぐに救助の許可も得られ、無事に救出できて良かったです。」

地域の助け合う気持ちが、迅速な救助につながりました。

▲1月25日小国警察署長からの感謝状贈呈式の様子
（写真提供：小国警察署）

横根スキー場『カップルデー』・道の駅白い森おぐに『白い森未来フェス』 同日開催！！

多くの来場者が笑顔に



２月13日、横根スキー場と道の駅白い森おぐにではカップルデーイベントと白い森未来フェス（実行委員会代表 嶋貫愛穂（まなほ）さん）が同日開催されました。道の駅売店（白い森のくまさん）周辺に作成された総数750個を超える雪灯籠が、約300人の来場者を優しく灯していました。来場者からは、「きれいだった。毎年恒例にしてほしい」という声も聞こえ、冬ならではの新しい小国のイベントを楽しんでいました。

◀横根スキー場カップルデー仲良くパシャリ

▲雪灯籠つくりには子どもたちも参加しました

▲配られた玉こんや甘酒で体をあたためました

小国高校生が考案　通帳ケース作成

特殊詐欺被害防止へ

特殊詐欺（うそ電話詐欺）被害を防ごうと、小国地区金融機関防犯協会（会長 長沢伸一山形銀行小国支店長）と小国警察署から依頼を受け、小国高校生６人が通帳ケースに入れる注意喚起メッセージを作成しました。高齢者にもわかりやすい文章にし、同校公認ゆるキャラ「おぐまん」をレイアウトすることで、手に取ったときに目を引くデザインになっています。２月５日に、作成した６人に両団体連名による感謝状が贈られました。

▲左から作成者の３年山口碧（あおい）さん、丹歩（あゆむ）さん、２年伊藤玲奈（れいな）さん、１年の髙橋陸（りく）さん、舟山杏樹（あんじゅ）さん、和田彩日香（あすか）さん

小国町議会議員と小国高校生との意見交換会

若者から高齢者まで暮らしやすい町に

◀高校生ならではの意見を伝えます

若者の町に対する想いを聞くことで、開かれた議会を目指していくため、２月19日おぐに開発総合センターで小国町議会議員と小国高校生との意見交換会が開催され、小国高校２年生20人と議員10人が５グループに分かれ、「若者から高齢者まで暮らしやすい町ってどんな町」をテーマに意見を交換しました。企画した広聴広報常任委員長の小関和好議員は「皆さんの意見を各委員会で議論して形にできるよう頑張りたい」と話しました。

山形大学地域教育文化学部と連携協定を締結

地域社会の発展と人材育成へ

２月４日、地域社会の発展と人材育成を目的として、山形大学地域教育文化学部と包括的な連携協定を締結しました。これまでも、小国高校生と山形大学の学生が町の郷土食文化を共に学習したり、農作物の試験栽培等に取り組んできました。

締結式で仁科町長は、「今後は地域住民や企業も巻き込みながら、農業部門の協働研究といった連携の取り組みが広がることを期待します。」と話しました。

鬼退治に向けてお面作り
《連携協定活動のご紹介》

１月31日に「鬼退治に向けてお面作り！みんなでお面を作ろう！」がアスモで開催されました。「studioこぐま」で代表を務めた山形大学地域教育文化学部非常勤教師の大沼洋美さんと学生が授業の一環で企画しました。（協力：studioこぐま（代表 本間かりん））子どもたちは、鬼の面に色を塗って、自分だけのお面作りに熱中していました。今後の連携による活動の広がりが楽しみです。

協力隊通信 series 59

「１年間大変お世話になりました」

緑のふるさと協力隊　中原　凌（りょう）

今年の冬は例年にないほどの大雪だそうです。小国の雪はすごいと聞いていましたが、僕が想像していたよりもはるかに多く雪が降り積もり、すごく驚いています。

先日、集落の近くにある百石山に登りました。夏と違い、冬の山は空気が澄んでいて、とても幻想的で良い経験になりました。

私は、３月で１年間の緑のふるさと協力隊の任期が終了します。今年度は世界中がコロナの影響で大変な１年でした。派遣された当初、知らない土地に来て感染症対策のために、アパートで２週間の隔離生活をした時は辛かったです。ところが、いざ活動が始まると、大自然や温かい人に囲まれて、たくさんの経験、思い出が出来ました。小国町で過ごした１年間は、これまでの生活では味わうことのない、とても貴重なものでした。１年間ありがとうございました。

▲冬の百石山山頂から

地域の学び舎、冬季分校

⑩小倉

横川の支流、大滝川の上流に極楽山と呼ばれる山があります。かつて、その山間の斜面に、9戸ほどからなる小倉集落がひらかれていました。そこの児童たちは、約4・5㎞離れた種沢集落にあった小国小学校種沢分校まで通っていました。しかし、冬場の通学は非常に困難だったため、この小倉にも冬季分校が開設されていました。

集落の一番高台にあったという1階建ての小さな校舎。まだ町内ではテレビがほとんど普及していなかった昭和36（1961）年度の冬、集落の人たちがお金を出し合い、そこに1台のテレビを贈りました。それは、「友だちともわかれ苦しい半年を過す子供たちのさびしさを、なんとか明るく楽しく過させたい」という地域のかたがたの想いが実ったものだったと、当時の『広報おぐに』（昭和37年2月15日発行）で報じられています。

木村陽子さん（杉沢）は、そのような、地域の愛情あふれる学び舎で育った一人です。ただし、「とにかく楽しかった」と言うように、木村さんにとって冬季分校生活は決して「苦しい」ものでも、「さびしい」ものでもなかったそうです。

「やっぱり冬だから雪で遊ぶのはもちろんだけど、一番想い出に残っているのは、先生に本を読んでもらったことですね。小国小学校から種沢分校経由で分けてもらった絵本とか童話とかがあって、それを先生が読み聞かせしてくれたの。テレビもあったんだけど、教育放送なんてまだなくて、授業で見るなんて全然なかった。やっぱり読み聞かせがすごく覚えてるし、一番それがよかったな。今の自分のルーツは、そこかなって思うぐらい。」そう木村さんは話します。

しんしんと雪が降り積もるなか、暖かな石炭ストーブを囲み、先生が読んでくれる物語に木村さんたち児童は胸を躍らせていました。

そのときの先生は足野水の小嶋建男さん（昭和19年生まれ）。お父さんが小倉出身ということもあり、小国小学校の校長をしていた従兄弟から冬季分校教員の声がかかったそうです。小嶋さんが小倉冬季分校で教員を勤めたのは、ちょうど木村さんが小学1年生から6年生までの六冬でした。

平日は学校の教員部屋で寝泊まりし、週末、峠を越え百子沢、足中（足水中里）を通り足野水にある実家へ帰るという生活でした。あまりにも吹雪がひどいときや雪が深いときは、小国駅から汽車に乗り、玉川口駅へ行き、そこからまた足野水まで歩いて帰っていたそうです。

しかし、そのような峠越えしないルートでもその道中、猛吹雪に見舞われ大変なことがありました。「あるとき、実家から小倉へ戻る途中で、夕方、大滝の集落を外れたらすごい吹雪。もう前にも行けない、戻るにも戻れない。踏み跡はすぐ風で消えてしまうっていう状態でな。

▲小倉冬季分校の児童たち（昭和41年度冬）

写真の一番左側が小嶋建男さんで、その右隣りが木村陽子さん。　（写真提供＝小嶋建男氏）

すぐわきに小っちゃこい杉林があったから、そこへ避難したんだけど、もう、どうしようもなくて。いや、これで自分は終わりかと思った。そしたら、何の連絡もしてないのに、小倉のじいちゃんたち3、4人で峠越えて迎えにきてくれたんだ。それで助けられた。」と、小嶋さんは話します。

小倉でも、地域のかたがたは、小嶋さんのような若い教員を温かく受け入れ、冬季分校をみんなで守っていました。

「冬季分校の想い出は、それはもう、たくさんある。本当に小倉の母ちゃんたちに厄介になったな。漬け物とか煮物とかしょっちゅう届けてくれて。ほとんど自分で作らなくてもいいくらいなもんだった。それに分校までの道つけ。屋根とか周りの雪掘り。お父さんたちは全員出稼ぎに出てたから、お母さんたちがそれらもみなしてくれたんだ。

あと、近くに俳句をやるおじいさんもいて、その人には俳句を教わった。あっこれいいな、と思ったのができたら持って行って。風呂もらいに行ったときなんかも、（風呂を）上がってからしばらく、二人で俳句の話をしてたな。」懐かしそうに小嶋さんは教えてくれます。

そんな小倉冬季分校で最後の閉校式がおこなわれたのは昭和52（1977）年3月22日のことです。その後、児童がいなかったため開設されず、昭和58年に廃校となりました。集落でも1軒、また1軒と町へ下りていき、昭和61年頃、最後の家が町外へ転出し、小倉集落の歴史に幕が下りました。

今でも集落跡地によく行くという木村さん。「うちの田んぼ、学校（跡）のすぐ下にあって、すごくいいワラビが出るんですよ。ついでに学校跡も私が手入れしてるんだけど、玄関の台のコンクリートとか四隅の土台とか今も残ってるの。それ見ると懐かしいのと同時に、ああ、こんなに小さかったんだなってびっくりしちゃう。今、振り返ってみても良い学校だったなって思いますね。」

外界と雪で隔てられたなか、本や先生を通して、まだ見ぬ広い世界に思いをめぐらせ、夢をかき立ててくれる。子どもたちにとって冬季分校は、そのような「大きく」て、かけがえのない学びの場だったのです。

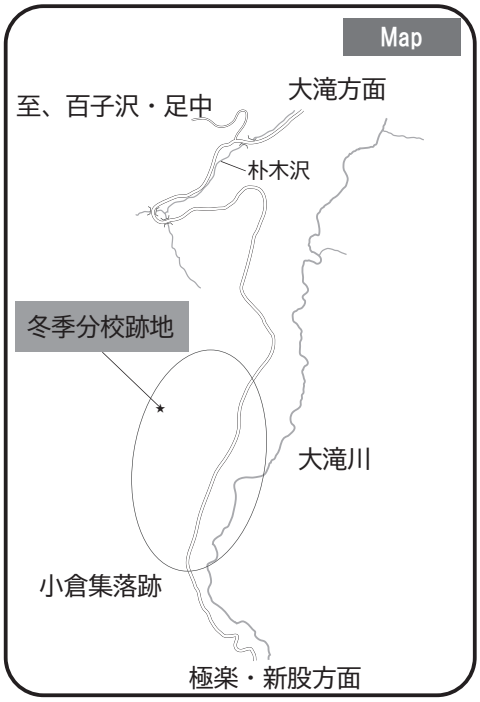
▲小倉冬季分校（年代不詳）

（写真提供＝小国町教育委員会）

▲冬季分校開校式の記念写真

小倉冬季分校は毎年11月１日に開校式をおこなっていた。

（写真提供＝木村陽子氏）



東京・仙台から小国の魅力をお届け！

“白い森から届くこだわり食材フェア”

町では、山菜やきのこといった白い森おぐにの自慢の食材を首都圏等に広くＰＲし、新たな販路開拓や消費の拡大に繋げようと、様々な取り組みを行っています。

その一つとして、東京赤坂のレストラン「東北Ｃａｆｅ＆Ｄｉｎｉｎｇ トレジオンポート」では、これまでも小国の食材を使ったオリジナルメニューの提供や、小国の生産者と小国ファンが一同に会する交流会などにより、白い森おぐにと、そこで作られる食材のＰＲを行ってきました。

今年はコロナ禍のため、実際の店舗での提供は行わないものの、テイクアウトで小国食材を使ったメニューをお届けすることになり、今回は東京と仙台の２店舗で販売します。

３月18日までは電話やインターネット（左ＱＲコード）からのお取り寄せも可能で、小国町からも注文できます。この機会に、職場の皆さんでのランチやご家族の夕食に、ぜひお召し上がりください。

≪お取り寄せメニュー≫

- 白い森おぐに御膳　2,000円
- 山菜ときのこのナムル（２人分）500円
- きのこと山菜の
  雑穀入り混ぜご飯（２人分）700円
- 好きな具材を包める
  雑穀クレープ生地（３枚）500円

【全て税込・送料が別途かかります】

〈お申し込み・お問い合わせ〉

東北Cafe＆Dining
トレジオンポート
（☎03-6807-4242）へ

ご注文はこちら

白い森まるごと塾vol.16　×　白い森おぐにビジネス創出塾

自分たちの手で地域の価値を醸造する ～ゲストハウス「三豊鶴ＴＯＪＩ」の事例から～

日　時：３月19日㈮14：30～16：30
※終了後、個別相談を実施

会　場：アスモ３階　多目的ホール

講　師：合同会社三豊鶴
喜田貴伸氏、矢野太一氏、細川貴司氏

内　容：地域資源を活用した魅力づくりや
地域内の連携について

参加費：無料

申込先：総合政策課（☎87-0821）へ

▲香川県三豊市よりオンラインでお話しいただきます

「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穣の森の象徴であるブナの樹肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

今年度、小国町では、山形県みどり環境交付金を活用して様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くの住民を対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。

森から拓く時代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機やチェーンソーに関する安全衛生教育研修を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。

森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れる方々が快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。

環境整備されたセラピーロード

白い森づくり体験事業

【植林・森林体験学習】

町内小学生を対象に、植林作業の実演見学のほか、実際に植林体験を行って植林作業の必要性を学びました。

森林講話により、森林の働きや森林セラピーについての理解を深めました。

植林体験

森林講話

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

小学生を対象に、町指定文化財（天然記念物）である六斗沢のスギを観察し、実際に幹周りの計測を行いました。

令和3年小国町議会 第2回臨時会

令和3年第2回臨時会が2月19日に開催されました。令和2年度一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に3608万4千円を追加

1月の補正予算可決後も断続的に降雪が続き、町道除排雪作業の稼働日数が増加したことに対応する経費や、新型コロナウイルス対策に係るワクチン接種体制の整備、及び経済対策等の拡充等を追加した結果、補正後の予算総額は、79億5284万3千円となりました。

ワクチン接種について、今回は優先接種の対象である医療関係者の2回分と65歳以上の高齢者の1回目の接種費用を計上しました。また、感染防止対策等を行う飲食業者及び宿泊業者に対して、1店舗あたり20万円の協力金を交付することとし、所要額を追加しました。

募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地
3DK　1戸（4階）
②町営住宅あけぼの高齢者団地
1LDK　1戸（1階）

■対象　世帯状況に応じた所得制限あり
▽世帯状況に応じた所得制限あり
▽60歳以上で自立した生活を送ることができるかた（同居する配偶者または60歳以上の親族がいる必要があります。）

①～②共通
◎家賃　所得により決定
◎敷金　家賃の3カ月分
◎募集期限　3月10日(水)
◎入居時期　4月上旬以降
◎問合先　地域整備課建設管理担当（☎62-2431）へ

お知らせ

協会けんぽ保険料率変更

協会けんぽ山形支部の保険料率は令和3年3月分（4月納付分）から左記のとおり変更になります。加入者の皆さまの医療と健康を支えるため、ご理解いただきますようお願いいたします。

・健康保険料率　1.79%⇓1.80%
・介護保険料率　10.05%⇓10.03%

■問合先
全国健康保険協会山形支部企画総務グループ（☎023-629-7226）へ

With優　出張相談会

「不登校・ひきこもりで悩んでいるかたがたへ」ご家族、友人、知人、もちろんご本人でも構いません。どんな些細なことでも一度ご相談ください。

■日時　3月25日(木)10時～14時
■内容　専門の相談員が無料で学校のことや就労についての相談に対応します。
■会場　おぐに開発総合センター研修室
■申込・問合先　NPO法人With優（安達）（☎0238-33-9137）へ（予約優先）

こころの健康相談統一ダイヤルのお知らせ

3月は「自殺対策強化月間」です。毎年この期間中の1週間を「こころの健康相談統一ダイヤル」として、悩みを抱えた人の相談をお受けしています。（秘密厳守）

■相談期間　3月1日(月)～7日(日)　9時～17時
■電話番号
☎0570-064-556まで
■その他（右記期間以外は）
・心の健康相談（☎0233-631-7060）でも受け付けています。（月）～（金）（祝）・年末年始を除く）
・「自死遺族個別相談（精神科医師や保健師による個別相談・予約制）」及び「自死遺族のつどい（毎月第3(金)13時30分～15時30分開催）」のお知らせ　身近な人や大切な人を亡くされたかたが安心して相談できる窓口を開催しています。
■申込・問合先　県精神保健福祉センター（☎0233-674-0139）へ

「湯るっと」改修工事基本設計（案）に係るパブリックコメントの実施について

置賜広域行政事務組合広域交流拠点施設（余熱利用施設）「湯るっと」改修工事基本設計（案）について、広くご意見を募集します。

■募集期間
2月15日(月)～3月8日(月)
■対象者　置賜3市5町内に在住、在勤または在学のかたなど
■閲覧場所　①組合HP②組合の各施設（事務局施設課、湯るっと、各クリーンセンター、消防本部など）
■提出方法
①事務局施設課及び湯るっとに持参
②事務局施設課に郵送・FAX（0238-24-4659）・Eメール（shisetu@okikou.or.jp）
※①②共通
住所・氏名・電話番号・記入日を明記してください。
■問合先　置賜広域行政事務組合　事務局施設課施設係（☎0238-26-7488）へ

3月の保健カレンダー

1．各健診の日程等

■3・4カ月児健診
・期　　日　3月5日㈮
・受付時間　13：10～13：15
・対　　象　令和2年10月、11月生まれ

■9・10カ月児健診
・期　　日　3月5日㈮
・受付時間　13：00～13：10
・対　　象　令和2年4月、5月生まれ

■1歳6カ月児健診
・期　　日　3月12日㈮
・受付時間　12：30～13：00
・対　　象　令和元年6月～9月生まれ

2．場　所　健康管理センター
3．その他　母子健康手帳を持参ください。
4．問合先
健康管理センター（☎61-1000）へ

＊子育て支援センターから＊

■3月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9：30～11：30・13：00～15：30（水・金は午後のみ）	不要
子育て講座「製作」	3月11日㈭9：30～11：20・子育て支援センター ※毛糸を巻き付けて、フォトフレームを作ります		必要 3/4まで

■対象者　就学前のお子さんとお家のかた
■利用時の注意点
・マスクの着用をお願いします。
・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
・体調の悪い場合は、利用できません。
■その他　お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。
■問合先
子育て支援センター（おぐに保育園内 ☎62-2330）

休日当番担当歯科医のお知らせ

3月7日㈰	米沢　平間歯科医院	0238-23-8148
3月14日㈰	長井　芳賀歯科医院	0238-84-8107
3月20日㈯	米沢　足立歯科医院	0238-23-4182
3月21日㈰	南陽　伊藤歯科医院	0238-45-2030
3月28日㈰	米沢　渡部歯科医院	0238-21-1610

求人情報

右の表は2月16日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
小国町森林組合	運転業務（トラック運転）	1人	7：30～17：00
㈱ＫＳ産業	試験係（技術）	1人	8：00～17：00
㈲東部開発	農作業員	2人	8：00～17：00
安部工業㈱	現場監督員	2人	8：00～17：00
	一般作業員	1人	
	型枠大工	1人	
山和建設㈱	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】	3人	8：00～17：00
	二級土木施工管理技士・二級建築施工管理技士【本社】	3人	
荒川興業㈱	（請）製造加工【アークカーボン加工メッキ工程】（臨時職員）	1人	8：20～17：10他
	（請）製造加工【アークカーボン加工】（臨時職員）	1人	8：20～17：10
	製造加工（臨時職員）	1人	
㈱高橋工務店	土木技術者（見習い可）	2人	8：00～17：00
	建築技術者（見習い可）	2人	
㈱高橋商会	ガソリンスタンドスタッフ	1人	8：00～17：00他
セイワ建設㈱	除雪作業車オペレーター【臨時】	1人	5：00～12：00
	除雪作業員【臨時】	2人	

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税　2021.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● **3月26日㈮**　水道料
● **3月31日㈬**　国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先
町民税務課税政管理室
（62-2403）へ

3月の あいベイベント
第14回MIXCUPフットサル大会

■日　時　３月28日㈰８：30集合
　　９：00試合開始
■対象者　町内在住　中学生以上　10名以内
　　試合中女性３名以上出場（必須）
■参加費　１チーム500円（保険料込）
■申込締切　３月18日㈭
■その他　試合中以外はマスク着用（必須）
　　朝の入場時に検温を行います。

■申込・問合先
（☎62-5808）

特定非営利活動法人 おぐにYui スポーツクラブ

総合センター図書室から

～新着図書～　休館日 毎週月曜日・祝日

◇鬼滅の刃　全23巻　吾峠呼世晴
◇八月の銀の雪　伊与原新
◇オルタネート　加藤シゲアキ
◇風よあらしよ　村山由佳
◇心淋し川　西條奈加

借金返済に関する相談窓口のご案内

　返しきれない借金でお困りのかたは、まずはお電話を。相談は秘密厳守・無料。

■相談専用電話　☎023-641-5201へ
■受付日　８：30～16：30（土日祝・年末年始を除く）
■問合先　山形財務事務所理財課
　（☎023-641-5178）へ

入札結果情報（令和３年１月21日～令和３年２月20日実施）　単位(円)

入札日	工　事　名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
R3.2.12	令和２年度栄町地区水路改修事業	栄町	R3.3.26	3,493,000	㈱船山工務店	3,400,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

コロナに負けない お店紹介 vol.2

「コロナに負けないお店紹介」と題しシリーズで感染防止対策に取り組み営業する飲食店を紹介します。
※メニュー料金は１人前の金額です。

中国料理 鏡（栄町）

ユーリンチー
油淋鶏７３０円(税込)
餃子　４２０円(税込)
（写真は２人前と４人前）

■電話　62－2974
■営業時間　11時30分～21時（不定休）
（14時～17時まで休み）

店主より一言
テイクアウトも豊富なメニューで対応しています。お弁当も承りますので、金額も含めて、前日までにご相談ください。

きくよし亭（栄町）

■電話　62－3322
■営業時間　17時～23時（月定休）

店主より一言
お得セット（3,000円税込）、かも鍋（1,050円税別）などもテイクアウトで楽しめます。３月も引き続き承りますので、気になるメニューがあれば、ご相談ください。

もつ鍋９８０円(税別)
（写真は３人前）

戸籍のまど

（１月届出分）

誕生おめでとうございます。

玉川三須柊馬（とうま）（隼人　眞紀）
大滝前田陽翔（はると）（宜之　栞）
黒沢保科凪（なぎ）（光輝　美涼）

結婚おめでとうございます。

（栄町須貝洋人　東原渡部真弓）
（小国小坂町八幡秀勝　鶴岡市佐藤麻鈴）

おくやみ申し上げます。

増岡	伊藤俊子	(79)
玉川中里	舟山武久	(66)
増岡	安部金子	(88)
小国小坂町	渡部君夫	(87)
兵庫舘	今修	(82)
足野水	今耕作	(91)
田沢頭	伊藤忠雄	(76)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和３年１月31日現在）

人口	男・・・3,619人	（－１）
	女・・・3,626人	（－３）
	計・・・7,245人	（－４）
世帯数	3,027世帯	（　３）

編集後記

早いもので３月。令和２年度最後の広報になりました。まだまだ慣れず、私にとって、不安や戸惑いの消えない１年となりました。来年度は思い切りの良い取材を通して、わかりやすい広報をお届けしたいです。

さて、特集でもお届けしましたが、２月中旬、また積雪量が増えてきています。雨が交じり重くなりますので、雪下ろしの際は、お気を付けください。春までもう少し。あー、待ち遠しい。（仁科）

農業者の老後をサポート　農業者年金

◆加入の条件

①国民年金１号被保険者
　※ただし、付加年金(400円)に加入の必要があります。
②年間60日以上農業に従事するかた
③20歳以上60歳未満

◆加入の大きなメリット

①農業に従事しているかたは誰でも加入可能
　（加入・脱退は自由）
②積み立て方式なため、今後の少子高齢時代に安心
③保険料は自分で選べていつでも変更可能
　（月額２万～６万７千円の間で千円単位）
④終身年金で80歳までの死亡一時金あり
⑤支払った保険料は、全額社会保険料控除の対象
⑥一定の要件を満たすかたには、保険料の国庫補助あり

■問合先　小国町農業委員会（☎62-2408）へ

小国町立病院　外科・産婦人科 休診のお知らせ

外科は５月から、
産婦人科は10月から休診となります。

現在、小国町立病院は、内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科の８科体制で診療にあたっています。近年、人口の減少や、高度な医療を専門病院に集約する医療資源の再編などの影響により、町立病院の経営は厳しさを増し、町立病院の持続的な診療を確保するための方策を検討してきました。

昨年から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、診療控えなどから経営環境が急速に悪化しており、対策を前倒しして実施することとなり、令和３年５月から外科を、10月から産婦人科をそれぞれ休診することになりました。

診療中の患者様や継続して受診が必要な患者様には、受診時に個別に相談の上、主治医の変更などを行います。皆様には、ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

■問合先　小国町立病院（☎61-1111）へ

ドローンがみた、おぐにの風景 No.21

㉑「白い森おぐに湖（横川ダム湖）」

町中心部から、子持ちトンネルを抜け叶水大橋（写真中央）を渡ると、真っ白な湖面上にテントが設営されているのが見えてきます。近年、小国町の冬の楽しみの一つとして認知されてきた、ワカサギ釣りに熱中するかたがたです。湖面は凍結しませんが、大量の雪が蓄積されることで、湖面に上がることが可能になり、例年１月中旬頃から３月中旬頃まで楽しむことができます。

ワカサギ釣りのシーズンが終わると、白い森おぐに湖にも春が訪れます。降り積もった雪はダム湖に満杯の水を蓄え、町に豊かな水を供給してくれることでしょう。

No. 797
広報おぐに
2021-3-1
編集発行／小国町役場総合政策課　ホームページ http://www.town.oguni.yamagata.jp　携帯電話向けサイト http://www.town.oguni.yamagata.jp/m/index.html
〒999-1363　山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地　TEL0238（62）2111(代)　FAX0238（62）5464　印刷／桝青葉堂印刷